

学習指導要領	向丘高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開、主要な内容をとらえ、その論理性について分析、考察して説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、対比や言い換えなどの関係や段落の構成をとらえ、それぞれの働きや関係について説明することができる。 ・小説において、全体の骨組みをとらえ、場面や人物などの設定がその後の展開にどのように影響するのかを把握し、説明することができる。 ・構成や展開の仕方をたどりながら、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容とその他とを区別し、論点を説明することができる。 ・文章の構成や展開の工夫、書き手の主張などを伝えるための話の進め方について分析、考察し、説明することができる。
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、書き手の意図を理解したり、人物、情景、心情の描写などを正しくとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を十分に感じ取り、味わうことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像や心情の変化について、その言動や情景描写を正確に読み取り、理解することができる。 ・漢語や和語の美しさやリズム、叙述や表現の巧みさなどを感じ取り、これらの点を意識した朗読などを通して作品への興味を深めることができる。 ・類似のテーマの他の作品などを幅広く読書することができる。 <p>多種多様な文章の内容や表現の仕方について、その</p>

学習指導要領	向丘高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>特色や価値を評価しながら、自分の考えを深め、生き方について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、相反する立場の文章と比較し、その特徴や価値を説明することができる。 文章を読んで、人間、社会、自然について考察することで自分の考えを深めることができる。 <p>目的や課題に応じて、収集した情報を整理して資料を作成し、根拠を示しながら自分の考えを述べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や課題に応じて、事典、新聞、書籍やウェブページなどを利用して情報を収集することができる。 収集した情報を整理して、自分が活用しやすい資料を作成することができる。 作成した資料を活用して、自分の考えを表現することができる。 <p>語句の意味、用法について主要な事柄を理解し、文体の特色や表現技法、語句の使い方の工夫などに注意しながら、文章作成や推敲に活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な文章について、語句の意味・用法を的確に理解し、また用いることができる。 説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（概念、普遍、アイデンティティ、など）の意味を正しく理解し、また用いることができる。 新聞のコラムを正確に理解することができる。 比喩、反復、倒置、省略、対句などについて理解し、文章中の技法について説明するとともに、自らも用いることができる。 文章を読んで、論の構成・展開の仕方、適切な表現について、良い点を指摘し、自分が表現したり推敲したりする時に用いることができる。

	学習指導要領	向丘高校 学カスタンダード
私生活の生きる社会 現代社会と人間としての在り方生き方	(1) 現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。	「幸福、正義、公正」といった価値を活用して、現代社会の諸課題を考察することができる。考察にあたっては、環境・生命・情報の分野において、様々な対立があることも理解する。特に生命の分野ではSOLとQOLの対立などから、人間としての在り方生き方についての理解を深める。
	(2) 現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。 ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期を、自分との関わりの中でとらえ、心理的、社会的な自立を遂げていく必要性について、理解を深めている。青年期の意義・特色について根本的に理解し、自分の在り方生き方について主体的に考えることができる。 ・青年期をモラトリアムとしてとらえ、アイデンティティ（自我同一性）の確立のために、今の自分がどうあるべきかについて考えを深めている。 ・フロイトの防衛機制や、マズローの欲求階層説に触れることで、心理学の観点から自分自身を客観的に理解することができる。 ・私たちの生活の背景にある我が国の伝統や文化（神道・仏教等）を理解し、それらに基づいた価値観とはどのようなものか説明することができる。 ・ギリシャ哲学、三大宗教（キリスト教・イスラーム・仏教）、中国の伝統思想（儒教・道教）等から普遍的な概念を学びとり、それを自らの生き方に反映させようとしている。 ・人間尊重の精神、科学的なものの見方、民主的な国家の形成などを近代的な思想として理解できる。 ・全体主義への批判、西洋中心主義への批判、民主主義の限界等の課題を、現代的な思想として理解する。

学習指導要領	向丘高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配</p> <p>個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<p>・社会契約説の考え方から、民主政治が立脚している価値観について理解し、「法の支配」「立憲主義」について考察できるようになる。</p> <p>・日本国憲法が保障する基本的人権の背景にある価値を理解し、さらにそれぞれの権利が日本でどのように理解され、実際に保障されてきたかを理解する。</p> <p>・民主政治の根幹としての国民主権を前提に、我が国の選挙制度の仕組みについて理解する。</p> <p>・我が国における平和主義の考え方について、日本国憲法前文や第9条を踏まえて理解するとともに、これまでの平和主義を巡る政府の対応等について自分なりの意見をもつ。</p> <p>・日本の政治制度の基本的な仕組みについて理解する。具体的には、内閣が国会に対して連帯して責任を負う議院内閣制を採用していることなどについて根本的な理解ができています。</p> <p>・日本国憲法第13条の「個人の尊重」を基盤に、個人の生命・自由及び幸福追求の権利等を理解できる。</p> <p>・18歳成年を踏まえ、法的主体になることの重要性を理解し、様々な現代社会の論点について主体的に考える。</p> <p>・法や社会規範が、私たちの生活のあらゆる領域にかかわっており、私たちの権利を守っていることを理解する。</p> <p>・司法制度の基本的な仕組みについて理解し、我が国が採用している三審制等について、その目的などを説明できる。また、司法制度改革の一環として「裁判員制度」が導入されたことを理解する。</p> <p>・社会生活を営む上で、自由・権利と責任・義務とは切り離すことのできない関係にあることを理解する。</p>

学習指導要領	向丘高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会の変容について、その歴史的な経緯から説明できる。 ・市場が需要と供給の均衡をもたらす「価格の自動調整機能」によって実現していることを説明できる。 ・財政について、所得税や消費税といった租税を財源として成り立ち、社会保障費や地方交付税交付金などの歳出がまかなわれていることを理解する。 ・金融機関が資金の融通を行うことで経済が成り立っていることや、日本銀行が発券銀行、銀行の銀行、政府の銀行の三つの働きをもつことを理解する。 ・戦後の我が国の経済的発展について理解し、経済成長が社会全体に与えた影響について説明できる。 ・日本国憲法に規定された勤労の義務や労働基本権について理解するとともに、非正規雇用の増加などに代表される現実の雇用・労働問題について知る。 ・生活の保障する社会保障制度の意義や役割を、国家や政府との関係において、理解する。 ・個人や企業が経済活動を行う上で、法令遵守（コンプライアンス）と社会的責任（CSR）を担っていることや、雇用の機会が広がることを理解する。個人が社会生活を営むに当たり、環境保全や社会貢献に配慮した行動をとる消費者が経済社会の主権者であることが重要であることを理解する。
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代のグローバル社会が、人、商品、資本、情報などが国境を越えて自由に移動し、国際的な相互依存関係が深まる中で形成されてきたことを説明できる。 ・人権、国家主権、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取組が重要であることを知る。 ・国際社会における国際法の重要性について知るとともに、国際平和の実現や国際的な人権問題の解決に向けて、国際連合の紛争地域への国連平和維持活動（PKO）や難民に対し国連難民高等弁務官事務所

学習指導要領	向丘高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>(UNHCR)、国境なき医師団等非政府組織などの果たす人道的役割が増大していることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の民族・地域紛争について、その対立の歴史的経緯を説明できる。また、文化や宗教などの違いを越えて、人類が共生に向けた努力を行う重要性を理解する。 ・世界の軍縮への取組について理解し、そのような中で我が国の在り方についての考えを深める。 ・現在の我が国の安全保障について日米安全保障条約にもとづく同盟国であり、軍事的には中立な立場にはないが、自衛隊の海外派遣が可能となり、国際社会の平和と安全の維持において自衛隊の果たしている役割が拡大していることについて知る。 ・世界的な規模で自由な経済活動が拡大していることや、国際経済問題の解決には地球規模での連携が必要であることを理解する。 ・グローバル化の進展とともに、国際的な経済の相互依存関係が深まっていることを理解し、欧州連合やASEANなどの事例を踏まえて地域的経済統合の動きについて知る。 ・南北問題や資源ナショナリズム等の問題を理解するとともに、国際機関や非政府組織などの果たす役割の重要性について理解する。 ・国連で採択されている持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けて、個人および社会が「誰も置き去りにしない」ということをどのような行動に移すべきか、考えることができる。 ・持続可能な社会の形成に参画することの重要性について理解し、「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「現役世代と将来世代の関係」のいずれかに注目して考察できる。